

## 2022年度 農場実習アンケート結果

農場実習後、参加者に実習から「学んだこと」「考えの変化」「満足度」に関する17の設問について5段階評価でアンケート調査を行った。また、大学によっては実習で学ばない内容に関する質問事項があるため、今年度から「今回は学んでいない」を追加し、アンケートの精度の向上を目指した。

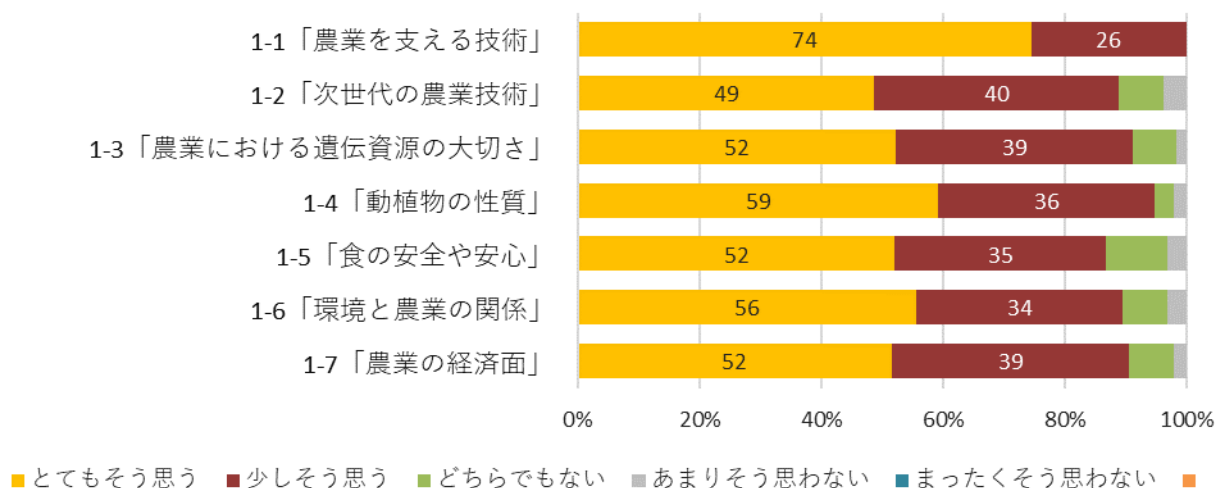
### 調査対象者

アンケートの回答者は昨年よりも90名増え、197名（うち教員4名）だった。そのうち、留学生は0名、男女比は女性が多かった。今年度は農学系から栄養系まで幅広い分野の学生から回答を得た。学年別に見ると、1年生と3年生が多かった。

		n	割合%			n	割合%
所属	国内	197	100.0	学年	1年	73	37.1
	国外	0	0.0		2年	24	12.2
性別	男性	61	31.0		3年	67	34.0
	女性	133	67.5		4年	12	6.1
	無回答	3	1.5		5年	13	6.6
学部	農学系	32	16.2		6年	3	1.5
	獣医・畜産系	21	10.7	院生	1	0.5	
	生命・環境系	64	32.5	教員	4	2.0	
	栄養系	58	29.4				
	その他	22	11.2				

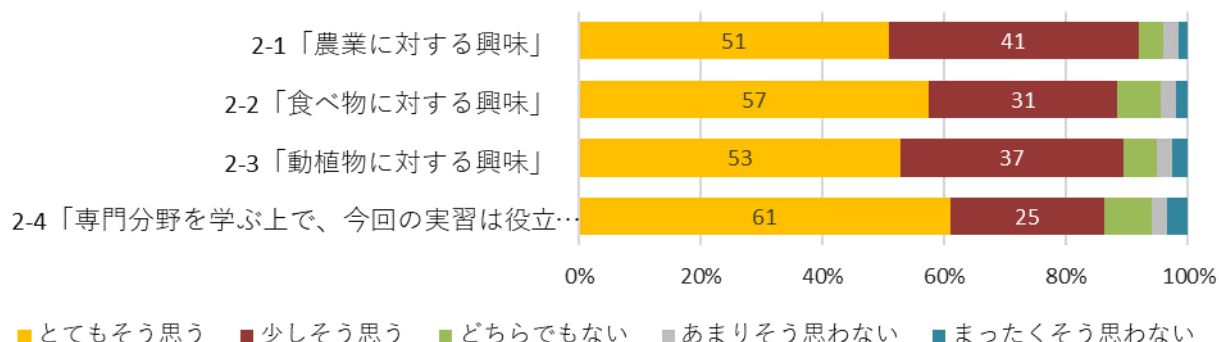
### 実習参加による学習効果

「実習参加による農業や食に対する学びや考えの変化」に関する7つの設問では、全体の約87～100%の学生が「とてもそう思う」「そう思う」と回答をした。昨年度に比べて全体的に満足度が向上した。実際の作業だけでなく、実習前の丁寧な説明が学生の理解を深めるうえで重要であると考えられる。また「今回は学んでいない」という回答項目を加えたことで、これまでは満足度の低い回答が比較的多かった「次世代の農業技術」などの質問項目の満足度が向上したと考えられる。



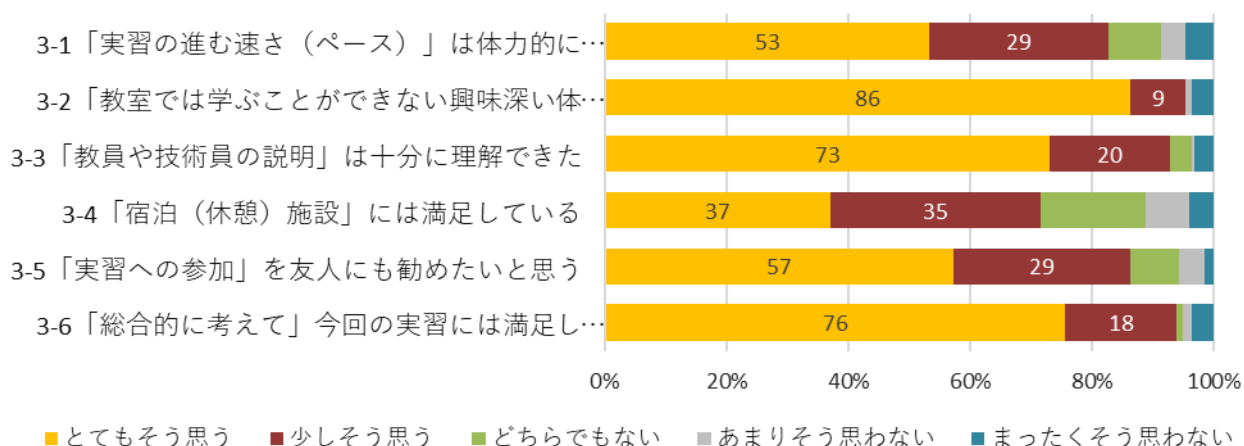
## 実習後の考えの変化

実習後の考えの変化に関する4つの設問のうち、「農業」「食べ物」「動植物」に対する興味が湧いたと回答した学生は全体の約88～92%であった。9割近くの学生が、農業に対する興味が増したと感じていた。また、「専門分野を学ぶ上で、今回の実習が役立つ」の設問には、今年は理系の学生が多かったことが関係あるのか、「とてもそう思う」「そう思う」が全体の86%となり、専門性を学ぶ上でも有意義であったと考えられる。



## 実習への満足度

「実習の進む速さ（ペース）」については、全体の8割以上の学生が無理なく参加できたと回答していたが、今回は女子学生が多かったためか、自由記述の実習の改善点では、体力的に厳しかったとの回答が多く得られた。時期や参加者の内訳をみて、ペースを判断する必要があると考えられる。また例年通り、「教室では学ぶことができない興味深い体験をすることができた」と「教員や技術員の説明は十分に理解できた」の満足度が90%以上となり、参加した学生へ満足できる経験や学びを提供できたと考えられる。一方で、「宿泊（休憩）施設に満足している」は他の設問に比べて特に満足度が低かった。これは、施設の清潔感や虫の発生について多くの改善意見が得られことに関連している。「総合的な満足度」では94%の学生が「とてもそう思う」「そう思う」と回答しており、実習に対する評価が非常に高かったと考えられる。



※「今回は学んでいない」の回答はアンケートの集計から除外した

## 自由記述で挙げられた改善点・要望のまとめ

新型コロナウイルスに対応した実習を行うことで、昨年度よりも参加大学が増え、多くの意見が得られた。ここでは今回得られたほぼすべての意見を抽出している。「実習内容に関する改善点」は、主に体力的に厳しかったとの意見と日帰りの移動/実習スケジュールに対する意見が多かった。宿泊やスケジュールに関しては、今後参加大学と相談し、安全面と実習内容の充実とのバランスを見極める必要があると感じた。「施設面に関する改善点」では、主に清潔感についての意見が多かった。学内の実習シーズン中は多くの学生が利用するため、清掃の徹底が必要と感じた。また女子学生から虫を嫌がる意見も多数得られた。虫の侵入をなくすことができないが、今後は予め伝えるなどの対応を考える。

### 「実習内容に関する改善点」

#### 体力面

- ・個人的に体力が持たなかったなのでそこは改善すべきかと思えた
- ・炎天下での活動が多かったため、もう少し休憩があるとよかったと思った
- ・日頃から作業している人よりも体力がないことを念頭に置いて実習内容を組んでほしい
- ・もう少し一息入れる休憩が欲しかった
- ・水分補給のための小休憩を増やしてほしいと感じた
- ・移動距離が長い
- ・スコップが小さくて疲れた

#### 宿泊/スケジュール

- ・連日、家から実習先の往復は体力的にも厳しいので、宿泊があればなお良かった
- ・時間があればもっとゆっくり詳しくお話を聞きたいと思いました
- ・日帰りじゃなくて泊まりならもっと効率良くできたと思う
- ・移動距離が長いので、泊まりに出来ればそういう点で楽なのかなと思った
- ・宿泊して、実習すればさらにいろんな事を学ぶ時間が増えると思った
- ・行き帰りの時間が実習時間よりも長いので、一泊でもできれば実習日程を3日から2日に減らすことができたのではないかと
- ・毎日のバス移動がしんどかった
- ・宿泊から日帰りになってからスケジュールも変わっていたので、初日にどのようなスケジュールに変わったかを教えてほしかった
- ・お昼休憩が長すぎる/短かった

#### 備品について

- ・安全靴の小さいサイズ/女性サイズ（23、24センチ）が少なかった点。
- ・安全靴の小さいサイズがあるとありがたかった
- ・牛の実習の際の長靴のサイズを増やしていただきたい。

#### その他

- ・跛行診断をやったことがないのでやってみようと思った

- ・あらゆる手技を行う上で重要となる牛の保定法や触り方、誘導の仕方をもう少し教えて欲しい
- ・牛肉トレーサビリティなども話していただけると、食の安全の理解が深まるかと思った
- ・稲に関して、どういう条件が良い生育状態であるか、という説明が頂きたかった
- ・お米の体験が最後までできなかつたのが少し残念だった
- ・キャベツの実習のように、資料が配布された方が見てわかりやすいと感じた
- ・実際に農業をして採れた作物を食べられたらいい
- ・話している人と距離があると、聞こえにくい時があった
- ・風でページュのような粉がたくさん顔や目にきて、痛かった。対策があれば教えてほしかった

## 「施設に関する改善点」

### 清潔感

- ・階段に虫の死骸があったこと、宿泊部屋にゴミが落ちていたことが気になった。もう少し清潔感のある施設にしてほしい
- ・洗面台付近がすこし汚れていた
- ・宿泊した部屋の床が少し汚れていました
- ・宿泊部屋は埃っぽかった
- ・お風呂と夜になると施設に大きな虫が沢山入ってきた
- ・農作物や牛を育てているので、仕方ないとは思いますが廊下に虫がたくさん出て駆除が大変だった
- ・環境を考えると仕方がないが、虫が廊下だけでなく、部屋やお風呂場にもいたことが気になった
- ・虫が多く、嫌だった
- ・部屋の隙間から多くの虫が侵入する点

### 備品・設備について

- ・部屋など、時計が少ない点
- ・扇風機を回してほしかった
- ・乾燥機が壊れていそうだったので直して欲しい
- ・部屋のエアコンの効きが悪かった
- ・Wi-Fiがあればもっとよかった
- ・枕が小さい。コンセントが少ない。
- ・宿舎内に自販機がほしい
- ・部屋の電気が薄暗かった

### その他

- ・牛舎や宿泊施設が暑かった
- ・長靴を履く場所と食堂の間(レインコートが置いてある場所)が土足でいいのかわからなかった
- ・女子浴槽の鏡の位置がシャワーと対応してなかったので使いづらかった
- ・男子トイレの設計。入りにくいし小便器が入ってすぐのところと、離れたところにあるのが非常に使いづらいと感じた
- ・夏場なのでシャワーが使えたらいいと思った
- ・宿泊施設利用の上の注意点がどこに書かれているのかが分かりづらい点